PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ
会社説明会

2015年3月18日（水）

株式会社大和証券グループ本社
執行役員　金子　好久

Daiwa Securities Group

本資料は、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2015年3月18日現在で公表可能な情報に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

PASSION FOR THE BEST

目次

Ⅰ. 大和証券グループについて ・・・ p 3

Ⅱ. 2014年度第3四半期 連結業績 ・・・ p 9

Ⅲ. 株主還元 ・・・ p 20

Ⅳ. 株主・投資家からの評価 ・・・ p 23

Ⅴ. CSR・IR活動 ・・・ p 26

Ⅰ．大和証券グループについて

Daiwa Securities Group

会社概要

PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ本社
Daiwa Securities Group Inc.

会社名	株式会社大和証券グループ本社 (証券コード:8601)
創業日	1902年5月1日
代表者	執行役社長　日比野　隆司
所在地	東京都千代田区丸の内1-9-1 グラントウキョウ ノースタワー
時価総額	1兆6,879億円（2015年2月末時点）
従業員数	13,919人（2014年12月末現在、グループ従業員数）
預り資産	52.9兆円（大和証券、2014年12月末現在）
ネットワーク	大和証券 国内拠点140店舗、海外拠点20カ国・地域（現在）

執行役社長 CEO　日比野　隆司

大和証券グループのあゆみ

PASSION FOR THE BEST

大和証券グループの113年

創業

・藤本ビルブローカー設立

大和證券設立

・日本信託銀行との合併

二部上場

・三市場第二部

一部上場

・三市場第一部
香港進出

持株会社体制移行

・大和証券G本社、大和証券、大和証券SBCM＊ 設立
（＊後に大和証券SMBC）

合弁事業解消

・SMFGとの合弁事業解消
大和証券CM設立

・大和投信設立
・NY進出

・ロンドン進出

・株式インターネット取引開始

・大和総研設立

・大和ネクスト銀行設立

創業110周年

・グループ内再編
“新”大和証券設立

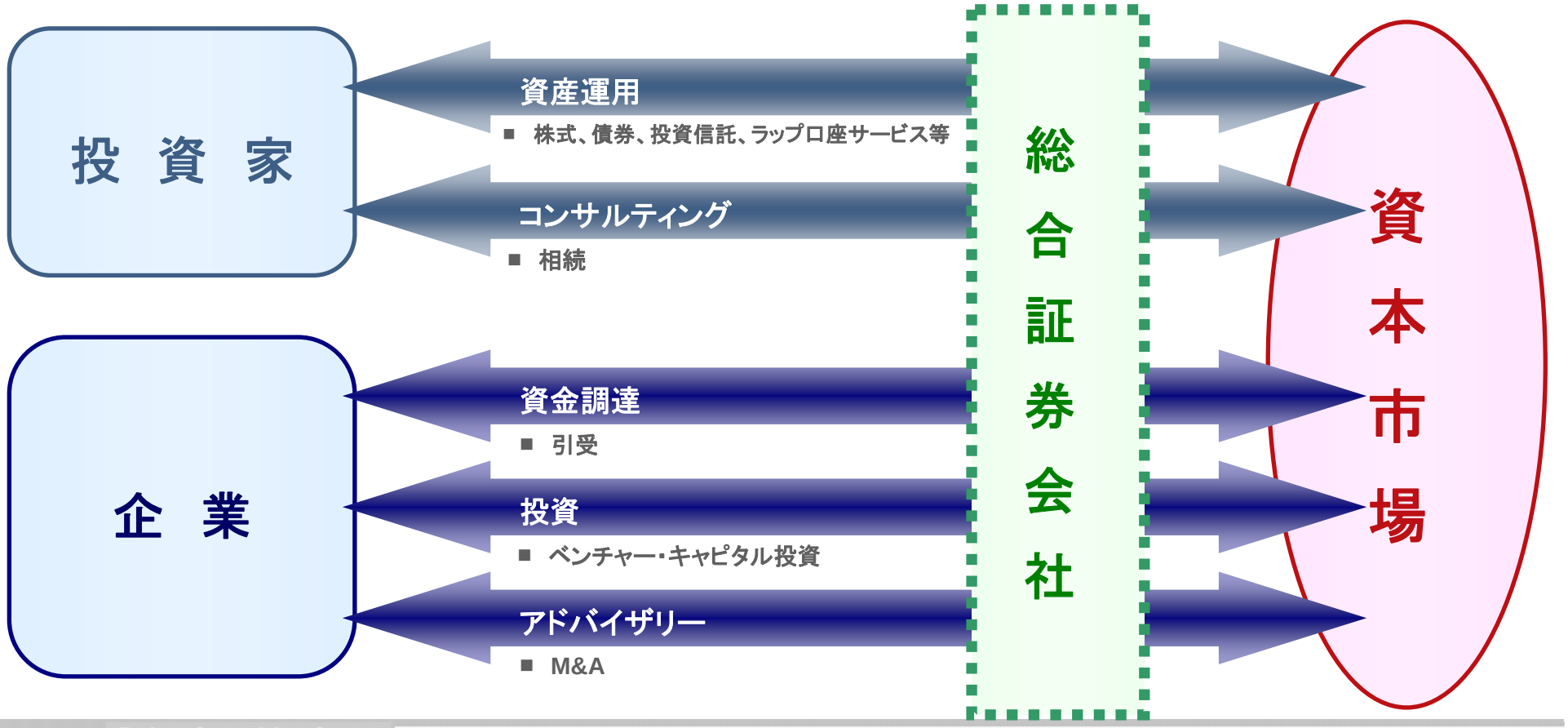
1902 | 1943 | 1959 | 1961 | 1964 | 1970 | 1989 | 1996 | 1999 | 2010 | 2011 | 2012

藤本ビルブローカー → **大和證券** → **分社時代** → **“新”大和証券**

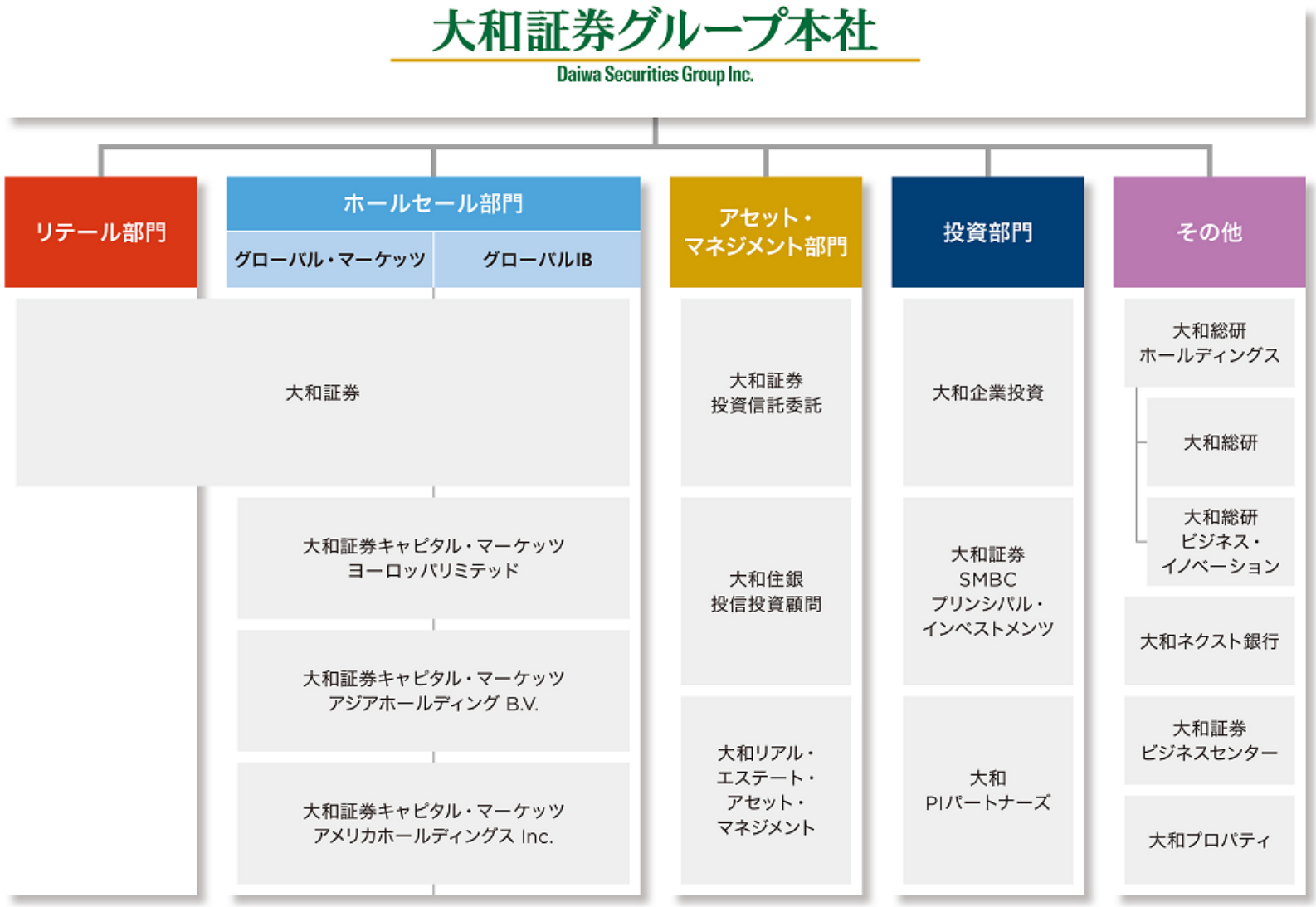
年	出来事
1902	日英同盟締結
1904	日露戦争
1929	世界恐慌
1939	第二次大戦
1964	証券不況
1971	ニクソンショック
1973	第一次石油危機
1979	第二次石油危機
1990	バブル崩壊
1996	金融ビッグバン
1997	アジア通貨危機 国内金融危機
2001	ITバブル崩壊
2007	サブプライム問題
2008	リーマンショック
2010	ギリシャショック
2011	欧州ソブリン危機
2012	アベノミクス

総合証券会社とは

■ 総合証券会社とは、投資家・企業を資本市場へとつなぐ役割を担い、社会・経済の発展に資することが社会的使命



大和証券グループの主要会社構成



※2014年6月30日現在

中期経営計画 “Passion for the Best” 2014

PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ 経営ビジョン

日本に強固な事業基盤を有しアジアを代表する総合証券グループ

大和証券グループ 経営基本方針

ストレス下でも黒字を確保する
強靭な経営基盤の確立

日本とアジアの成長を結ぶことで
持続的成長を実現

中期経営計画 骨子

外部環境に左右されない強靭な経営基盤の確立と新たな成長戦略に基づく健全な成長を目指す

年度	2012年度 再生	2013年度 成長	2014年度 拡大

経営目標

1. 連結経常利益 ［最終年度］*1,200億円以上*　2. 安定収益による固定費カバー率 ［最終年度4Q年換算］*60%以上*

Ⅱ. 2014年度　連結業績

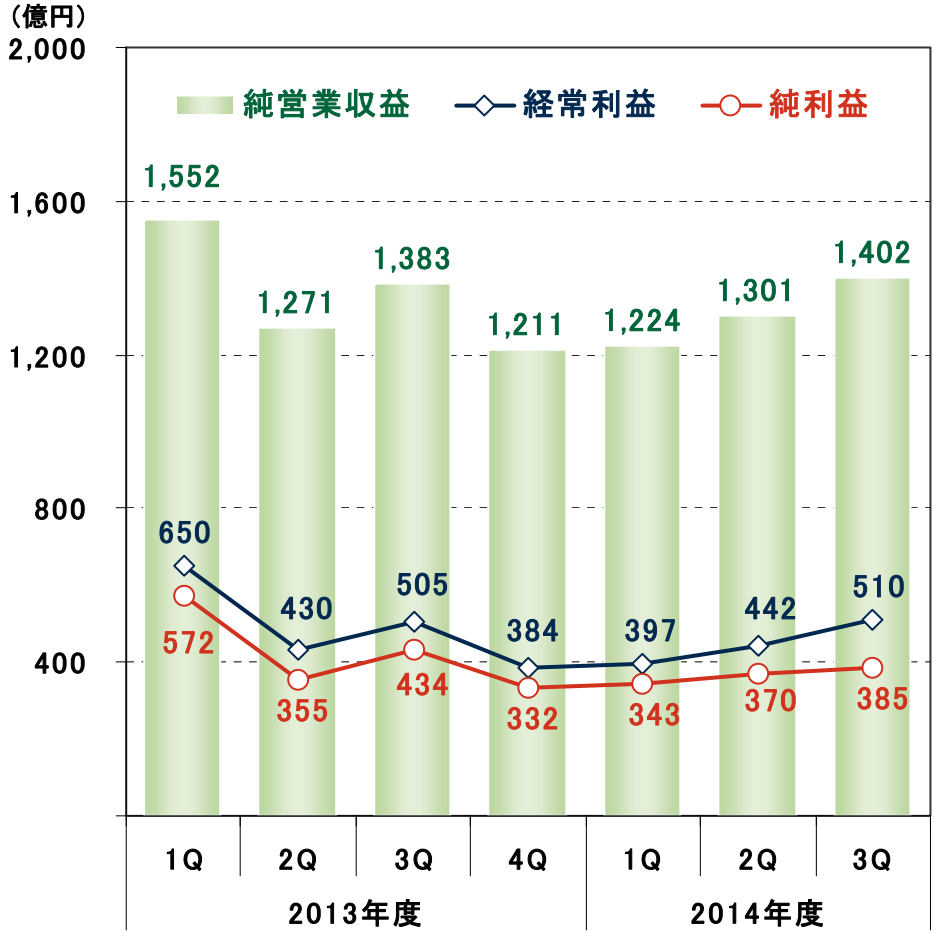
Daiwa Securities Group

大和証券グループ連結業績概要

PASSION FOR THE BEST

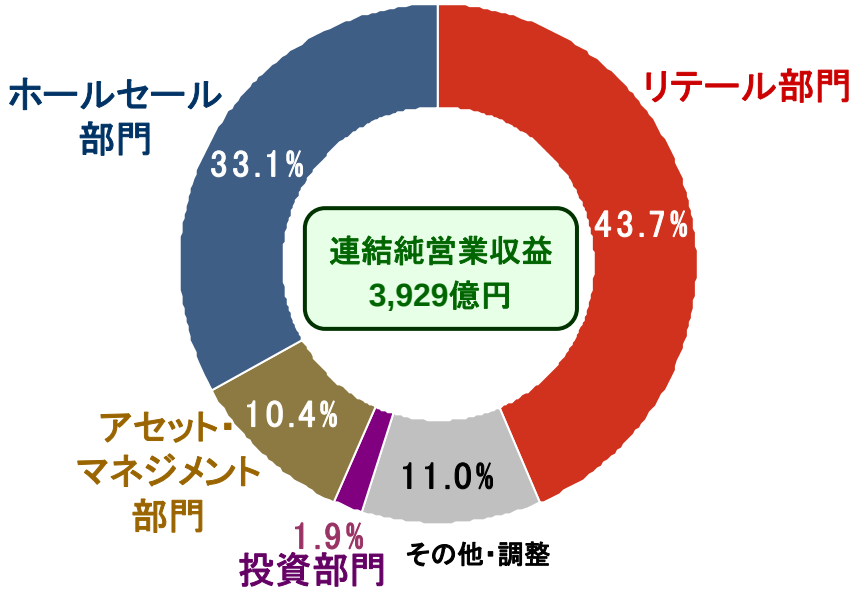
- 2014年度第3四半期までの連結純営業収益は3,929億円、経常利益は1,350億円、純利益は1,099億円
- 今年度は3四半期連続で増収増益

連結業績推移



純営業収益のセグメント別内訳

（億円）	2014年度 第3四半期	前四半期比	2014年度 第1-3四半期	前年同期比
リテール部門	607	＋6.9%	1,715	▲13.6%
ホールセール部門	438	▲1.5%	1,298	▲5.4%
アセット・マネジメント部門	141	＋1.8%	407	＋11.3%
投資部門	35	＋96.0%	75	▲55.0%
その他・調整等	179		431	
連結計	1,402	＋7.7%	3,929	▲6.6%



収益構造の変遷

PASSION FOR THE BEST

■ 株式投信、ラップ口座、銀行預金の残高拡大への取組みにより、収益が多様化

※1989年度は、連結範囲が現在と大きく異なる
※1989年度の信用取引金利収支は単体ベース

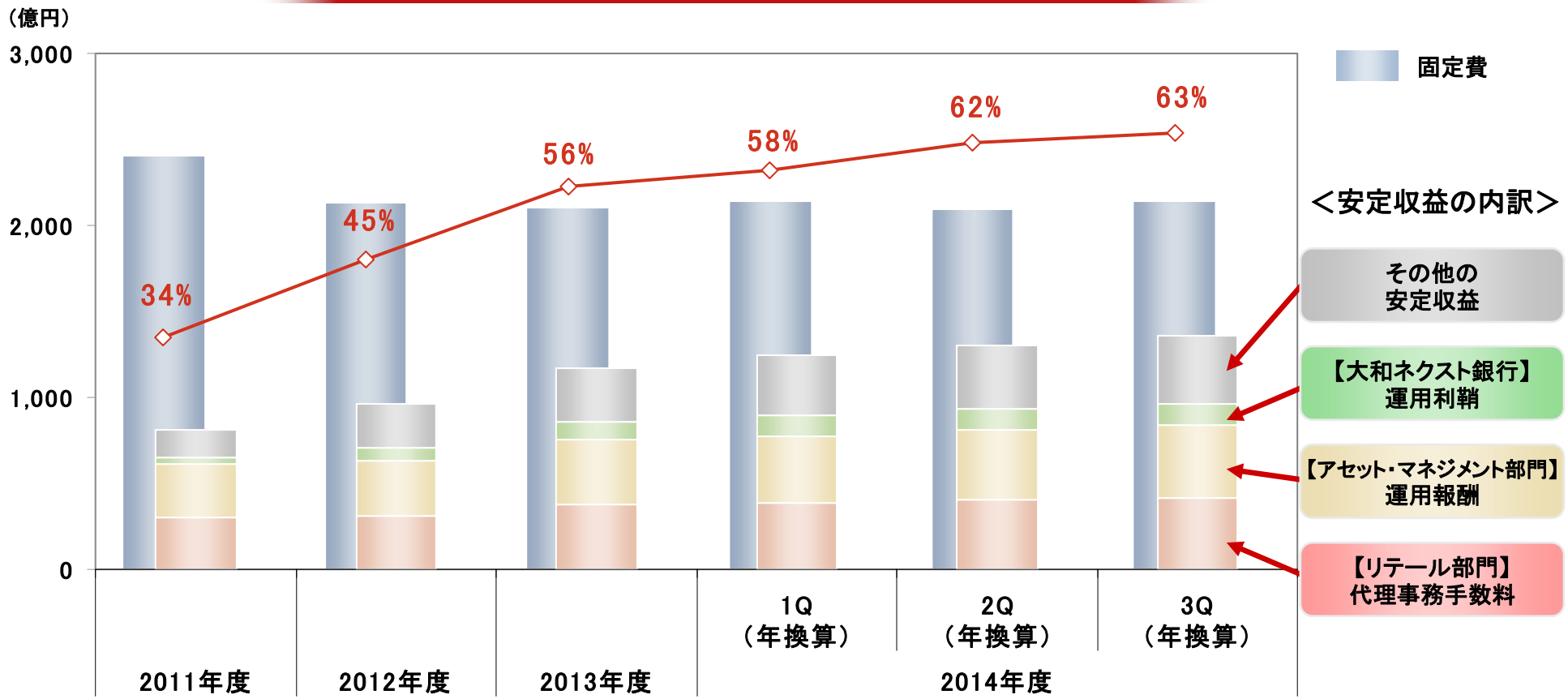
（億円）

	1989年度（バブル期）		2005年度（リーマンショック前）		2014年度（4～12月累計）	
	固定委託手数料 高信用取引金利		MSCB・デリバティブ取引 自己勘定収益		安定収益の拡大 収益源の多様化	
純営業収益	6,670	100%	5,793	100%	3,929	100%
委託手数料	3,023	45%	1,195	21%	506	13%
引受け・売出し手数料	984	15%	643	11%	310	8%
募集・売出しの取扱手数料	647	10%	438	8%	310	8%
その他受入手数料	463	7%	815	14%	1,028	26%
投信、ラップ口座関連	-	-	(400)	7%	(841)	21%
トレーディング損益	668	10%	2,249	39%	1,154	29%
営業投資有価証券関連損益	-	-	215	4%	68	2%
金融収支	882	13%	136	2%	314	8%
信用取引金利収支	(459)	7%	(49)	1%	(46)	1%
大和ネクスト銀行、証券担保ローン	-	-	-	-	(104)	3%
その他の営業収支	-	-	100	2%	235	6%
大和オフィス投資法人(REIT)	-	-	-	-	(80)	2%

安定収益による固定費カバー率（経営目標60%以上）

- 安定収益による固定費カバー率 ＝ 安定収益 ／ 固定費
- 安定収益の着実な積上げと固定費の削減および抑制スタンス継続により、中期経営計画最終年度目標である、「60%（4Q年換算）以上」を超える水準まで進捗

安定収益による固定費カバー率推移

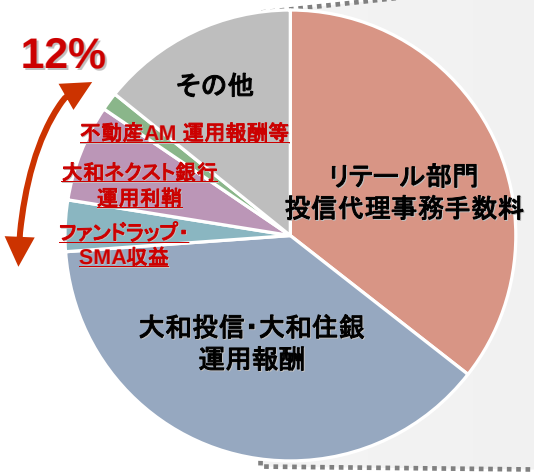


安定収益の拡大・多様化

- 中期経営計画を通じて安定収益の拡大に取り組んだ結果、安定収益額は約1.7倍に拡大
- 大和ネクスト銀行、ラップ口座サービス、不動産アセットマネジメントの貢献により、安定収益の70%超を占めていた投資信託の代理事務手数料、運用報酬への依存度が低下し、安定収益源の多様化が進捗

安定収益額 1.68倍

FY2011.4Q



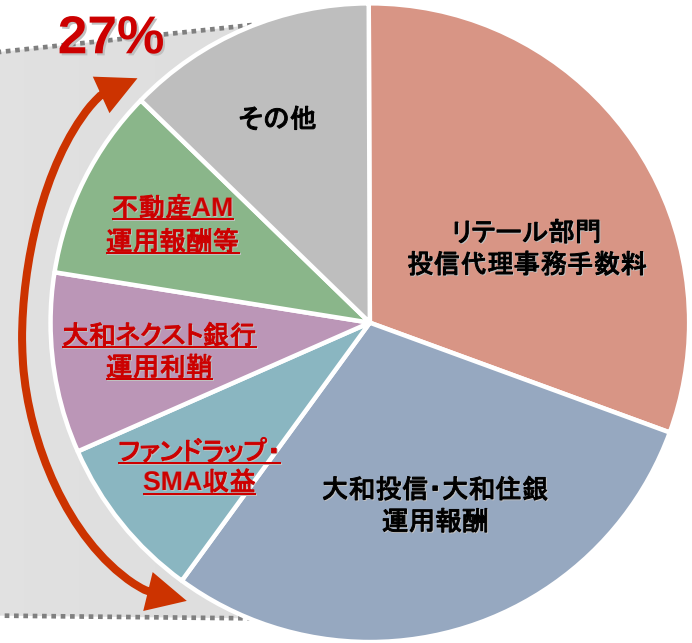
大和投信・大和住銀2社株投残高*
8.5兆円（2012.3月末）→10.1兆円（2014.12月末）

大和ネクスト銀行預金残高
1.4兆円（2012.3月末）→2.7兆円（2014.12月末）

大和証券ラップ口座契約資産残高
2,534億円（2012.3月末）→1兆378億円（2014.12月末）

大和リアル・エステート・AM運用資産残高
3,132億円（2012.5月末）→約4,800億円（2014.12月末）

FY2014.3Q



* 株投残高はETFを除く
※ 大和投信・大和住銀運用報酬には投資顧問報酬含む。大和住銀の運用報酬は持分相当を計上
※ 不動産AMには大和リアルエステートAMの運用報酬(成功報酬除く)、大和証券オフィス投資法人の純営業収益を含む

当社グループを取り巻くビジネス環境

PASSION FOR THE BEST

「貯蓄から投資の時代」いよいよ本番入りへ

デフレ脱却

政策・制度の後押し

全ての国民・家計における証券投資ニーズの高まり

成長企業の資金需要の高まり
資本効率（ROE）重視の姿勢

成功体験の広がり

企業の「稼ぐ力」の向上

「貯蓄から投資」と「企業価値向上」の好循環実現に向けた新中期経営計画の策定

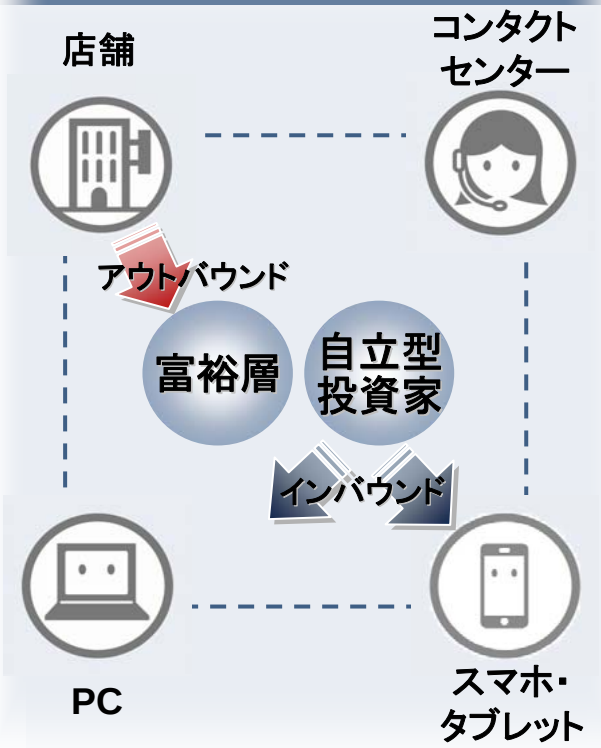
特定の投資家層から全ての家計へ

PASSION FOR THE BEST

証券投資が国民生活の一部となる
新しい時代に適合したサービス・プラットフォームを構築

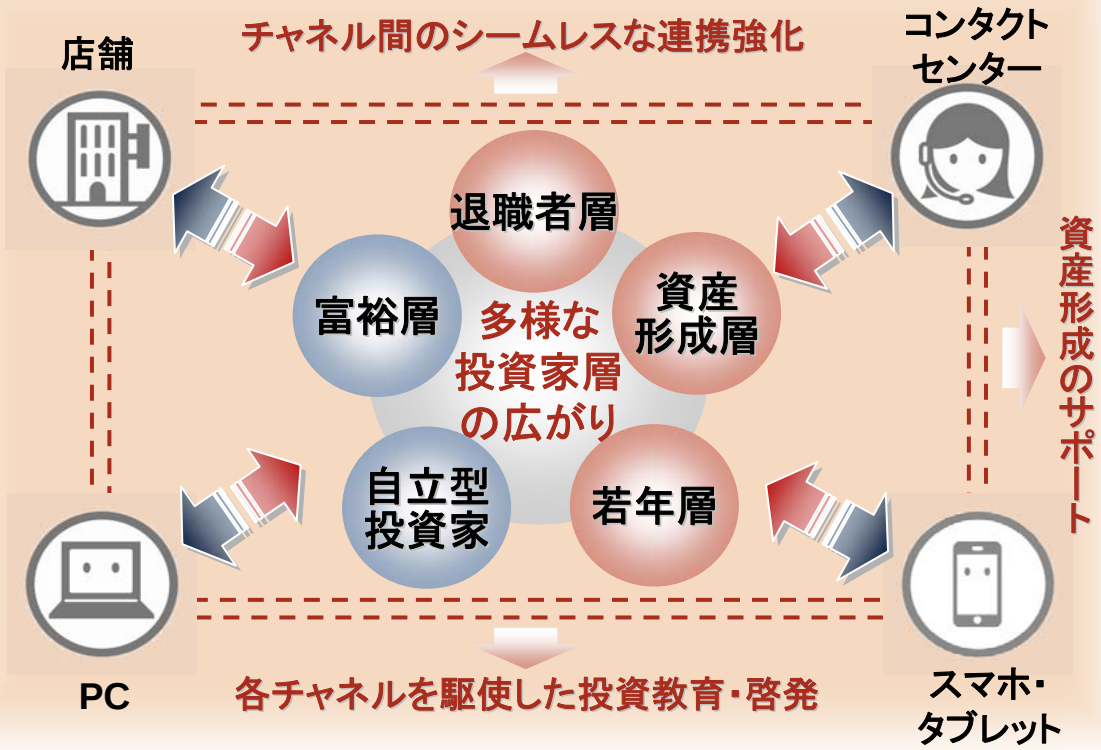
デフレ時代

特定の投資家層中心



ポストデフレ時代

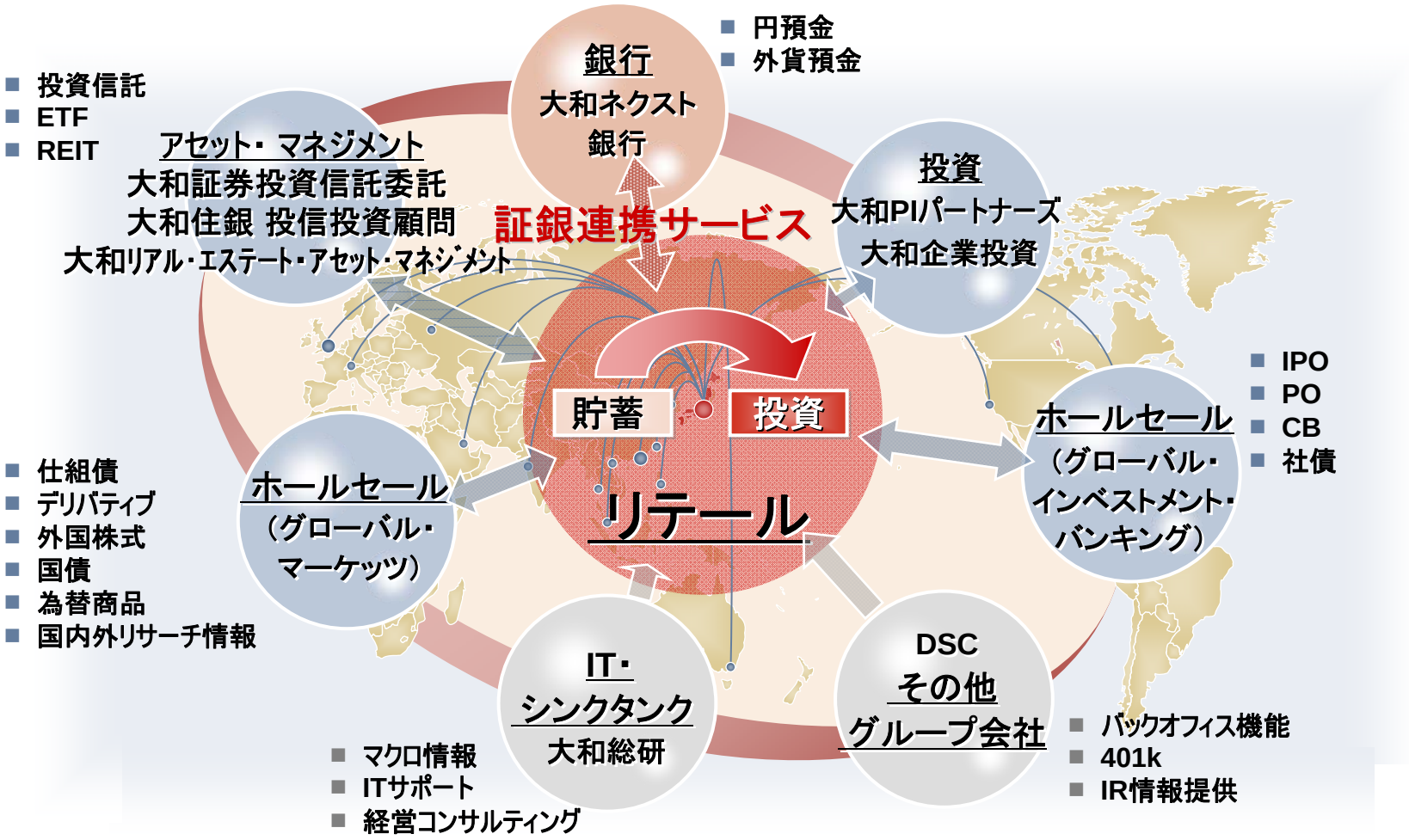
幅広い投資家層のニーズに応じた自由なチャネル選択



グループの総力を結集して「貯蓄から投資へ」の時代をリード

PASSION FOR THE BEST

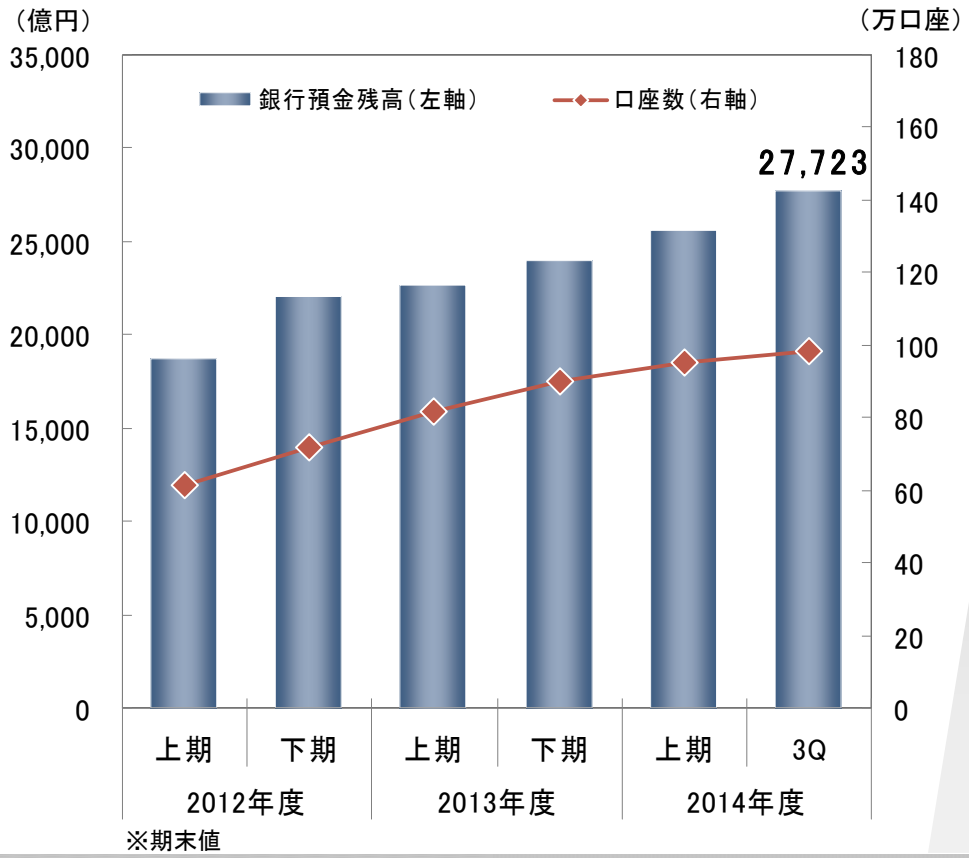
リテール部門を中核に据え、国内外の全部門が「貯蓄から投資へ」のシフトを促進するために連携を強化



独自の証銀連携ビジネスモデル

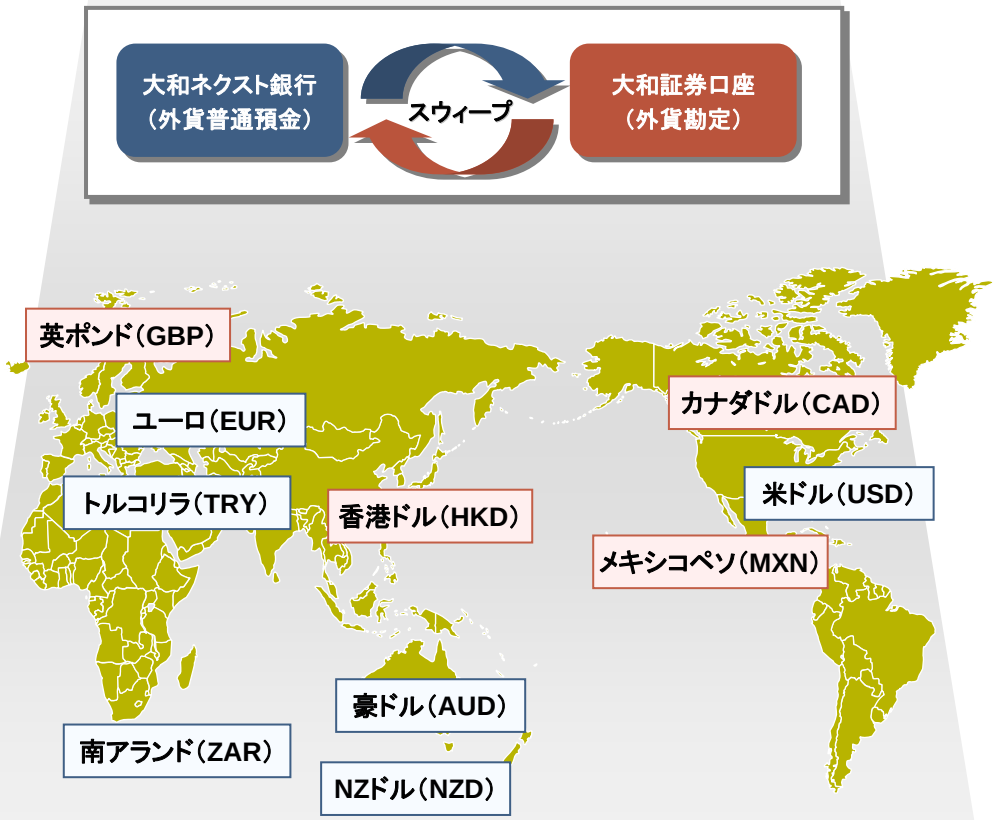
- 大和ネクスト銀行の預金残高は2014年12月末で2.7兆円まで拡大
- 2014年11月より外貨スウィープサービスを導入し、取扱い通貨を6通貨から10通貨に拡大
- 世界各国の通貨建て証券商品の買付代金を自動的に充当し、また償還金・利金・分配金・配当金等の待機資金を好金利の外貨普通預金に自動振替

大和ネクスト銀行の預金残高・口座数の推移



※期末値

外貨スウィープ導入と取扱通貨の拡大

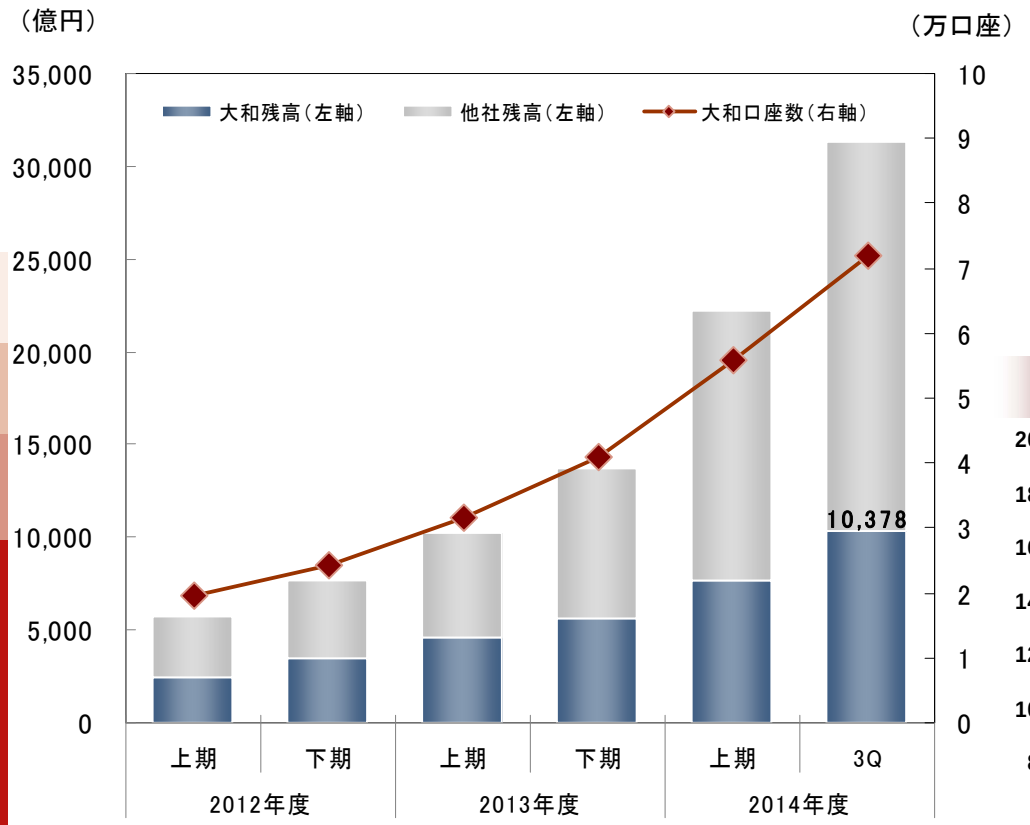


※2014年11月より、英ポンド、カナダドル、香港ドル、メキシコペソの4通貨の取扱いを開始

ラップビジネスへの注力

- 大和証券のラップ口座サービス(ダイワSMAおよびダイワファンドラップ)の2014年12月末時点における契約資産残高は1兆円を突破
- ファンドラップは「貯蓄から投資へ」の流れを促進するための有効なサービスであり、今後も競争力のある商品性と大和ネクスト銀行との連携により、幅広いお客様への浸透に注力

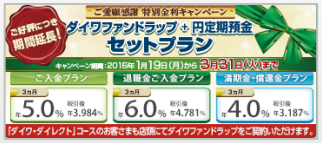
大和証券ラップ口座サービス残高推移



※期末値

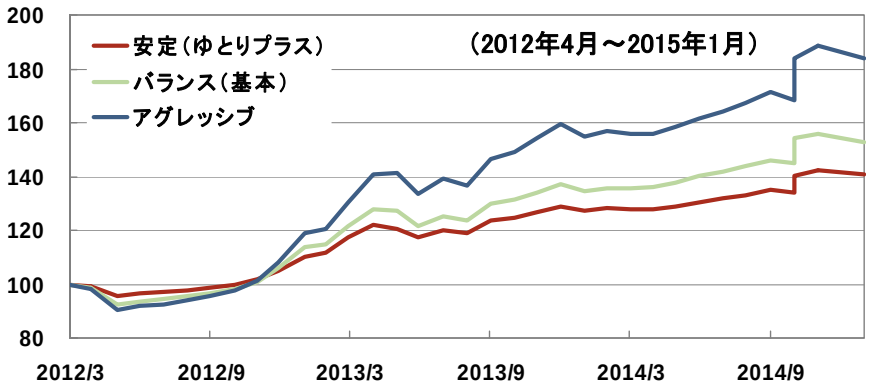
「ダイワファンドラップ」サービスの強み

- ✓ 契約金額は業界最低水準の300万円から利用可能
- ✓ 多彩な運用スタイル(100種類以上)
- ✓ ファンドラップ＋円定期預金セットプラン
- 初めて投資を検討される方など、投資への一歩を踏み出しやすいよう、大和ネクスト銀行との連携を活かしたサービスを実施



※キャンペーン期間中の金利です。

「ダイワファンドラップ」パフォーマンス*



(出所)日本投資顧問業協会、大和証券

*ファンドラップ専用ファンドを各月末時点で基準配分比率で保有していた場合のモデルケースのパフォーマンスを用いて算出したもので、ファンドラップ・フィー等は考慮していません。なお、ゆとりプラスは、当初ポートフォリオのモデルパフォーマンスを過去に遡ってシミュレーションしています。

グローバルネットワーク～日本への商品供給～

- 今後も堅調な経済成長が見込まれるASEAN各国を中心に、海外の現地有力金融機関との提携により、グローバルーネットワークを強化
- 当社グループの海外拠点との連携も含め、日本の投資家に幅広い海外関連商品を提供

2014年12月末時点

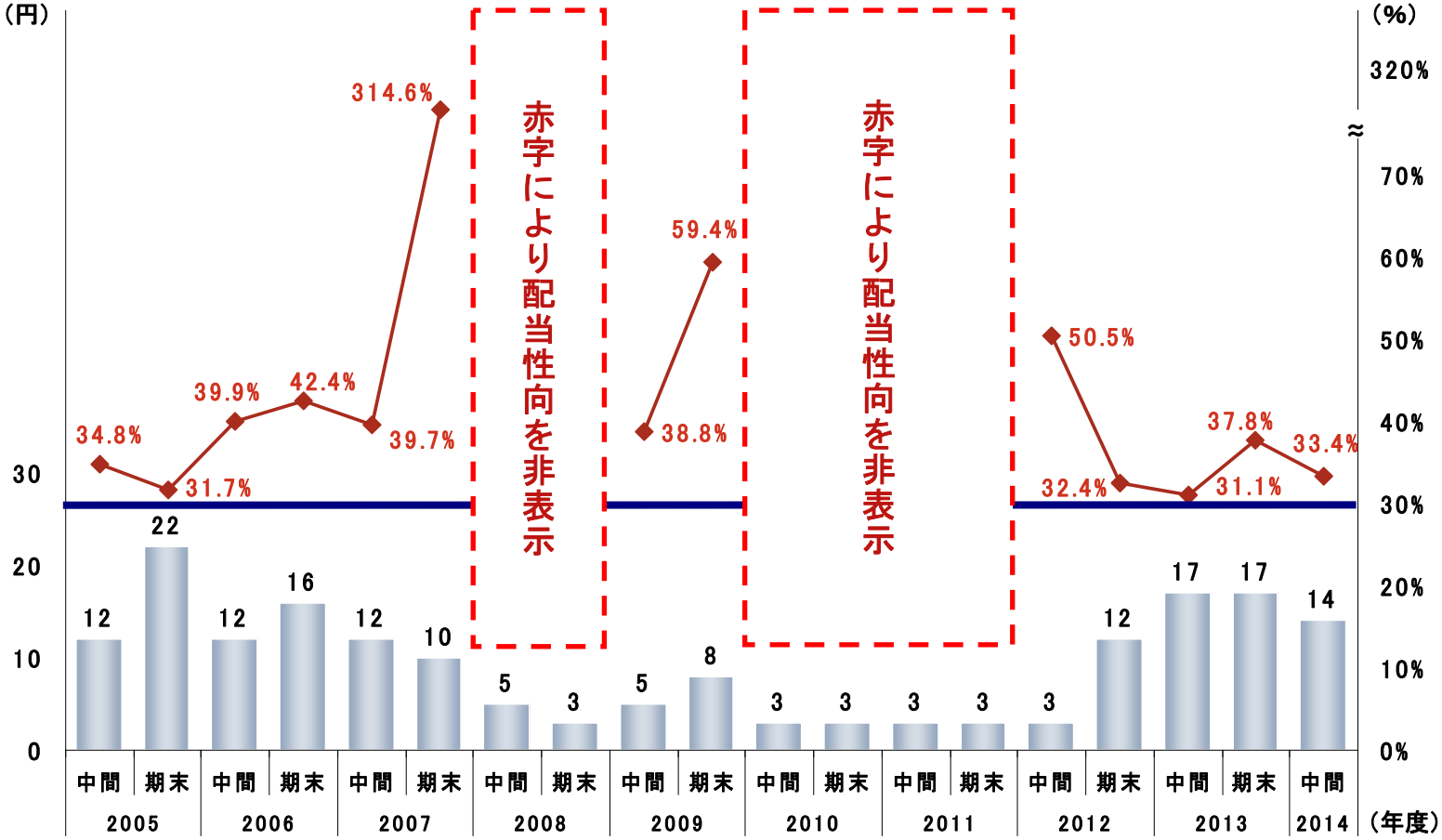
Ⅲ. 株主還元

Daiwa Securities Group

配当及び配当性向

- 配当方針：半期毎に配当性向30%程度を目指す
- 但し、安定性にも配慮した上で、今後の事業展開に要する内部留保を十分に確保できた場合には、より積極的に株主への利益還元を行う方針

配当及び配当性向の推移



※2004年度より中間配当を実施
※当期純利益が赤字の年度に関しては配当性向を表示していない

株主優待制度

保有株式　1,000株～2,999株	保有株式　5,000株～9,999株
株主優待品（2,000円相当）　カタログから 1点	株主優待品（5,000円相当）　カタログから 1点
保有株式　3,000株～4,999株	**保有株式　10,000株以上**
株主優待品（2,000円相当）　カタログから 2点	株主優待品（5,000円相当）　カタログから 2点

オリジナル壁掛けカレンダー　ご希望によりお届け（3月末株主優待時に実施）

2014年9月末　株主優待の商品例

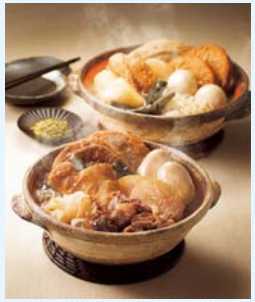
十勝橋本牧場アイス

虎屋ようかん

松本養蜂総本場ブナの森はちみつ

サン・ダルフォージャム

アサヒ スーパードライプレミアム


静岡おでん詰合せ

有名シェフのレストランカレー

南魚沼産こしひかり

漬け魚詰合せ

国産豚ハム詰合せ

※株主優待は、3月末と9月末時点の株主さま向けに実施しております（2015年2月現在）
※株主優待品は毎回変わります

Ⅳ. 株主・投資家からの評価

Daiwa Securities Group

当社の株価推移

大和証券グループ本社（8601） 株価推移

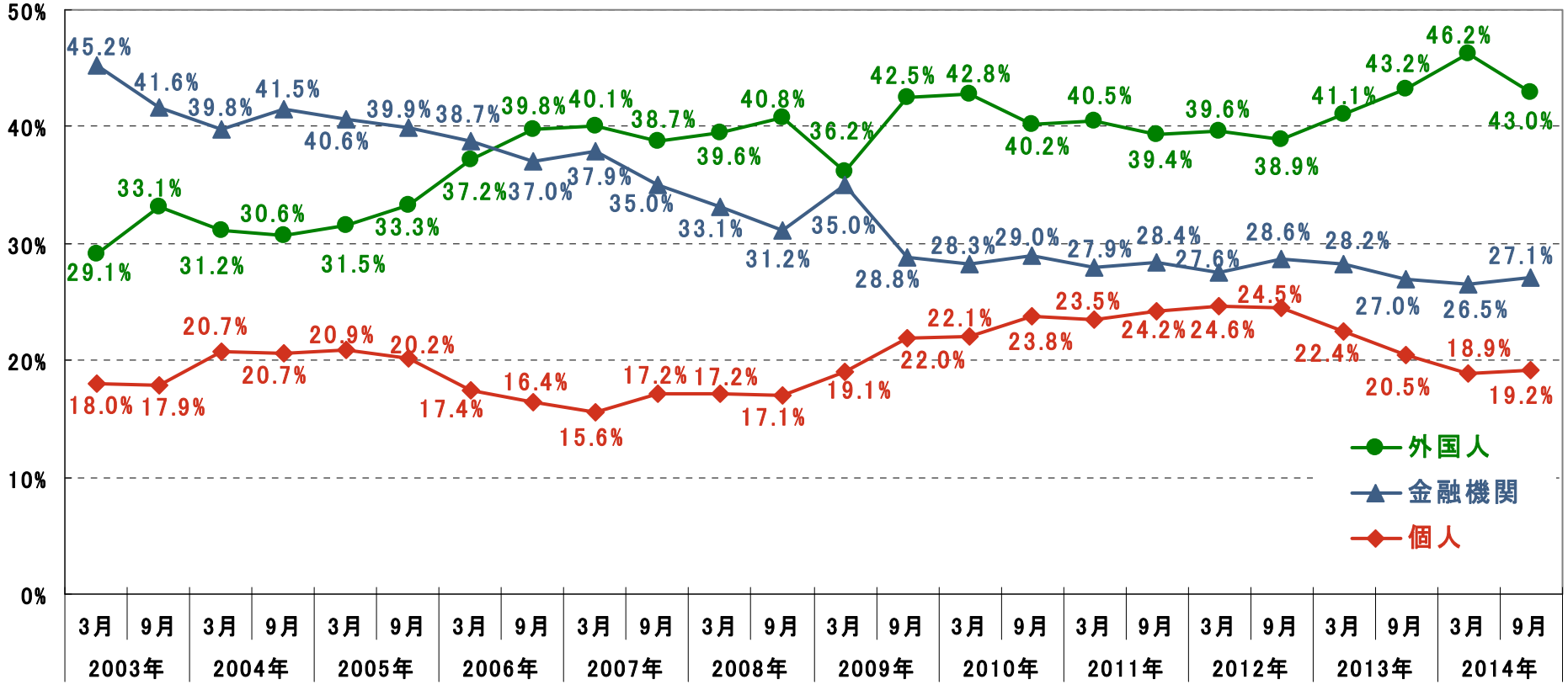
	株価		騰落率
	2012年3月末	2015年2月末	
大和	327.0	964.9	195.1%
TOPIX	854.35	1,523.85	78.4%

出所：大和総研

株主構成（投資主体別株式保有状況）

PASSION FOR THE BEST

大和証券グループ本社　投資主体別株式保有状況



全上場企業との株主構成比較

	外国人	金融機関	個人	その他
大和証券グループ本社	43.0%	27.1%	19.2%	10.7%
全上場企業（3,525社）	30.8%	26.7%	18.7%	23.8%

※ 大和証券グループ本社は2014年9月末時点、全上場企業は2014年3月末時点
※ 出所：東京証券取引所

Ⅴ. CSR･IR活動

Daiwa Securities Group

当社グループのCSR活動（企業の社会的責任）①

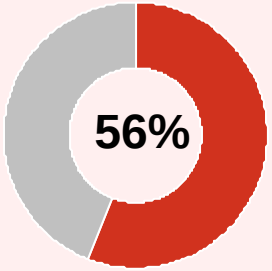
PASSION FOR THE BEST

インパクトインベストメント（社会貢献型投資）

➢ **様々なインパクト・インベストメント債券を販売**

- ワクチン債
- アグリ・ボンド
- JICA債
- マイクロファイナンス・ボンド
- エコロジー・ボンド
- グリーンボンド
- ウォーター・ボンド
- 女性の力　応援ボンド
- 中南米 子育て支援債　　等

➢ **個人向けインパクト・インベストメント債券のシェア**



大和証券販売額6,188億円※

総額11,092億円(大和証券調べ)※

ワークライフバランス

➢ **育児や介護の両立支援において法定以上の制度を導入**

➢ **ワークライフバランス専用サイトを保有**

※ 2008年3月～2014年12月末現在

当社グループのCSR活動（企業の社会的責任）②

2015年夏以降のヤンゴン証券取引所開設に向け資本市場整備支援を継続

販売体制整備

上場準備支援

上場候補会社訪問・マンデート獲得

取引所設立・認可準備

ミャンマー政府への提案・協議

2015年中 証券取引所開業（予定）

2015年4月
- 証券免許認可（予定）

2014年12月
- ヤンゴン証券取引所合弁契約調印（日ミャンマーの合弁）

2014年1月
- 金融庁がミャンマー財務省と金融技術協力に関する覚書を締結
- ➔ 官民連携での支援体制構築

2012年5月
- ミャンマー中央銀行、東京証券取引所、大和総研が「証券取引所設立及び資本市場育成支援への協力に関する覚書」を締結
- ➔ 2015年中の証券取引所設立を目指す

1996年4月
- ミャンマー経済銀行と大和総研の合弁「ミャンマー証券取引センター（MSEC）」を設立

当社グループのCSR活動（企業の社会的責任）③

PASSION FOR THE BEST

■ 男性・女性ともに、若手社員からベテラン社員までが持てる能力を発揮して活き活きと働き続けられるよう、様々な施策を継続

女性支店長・管理職の増加（大和証券）

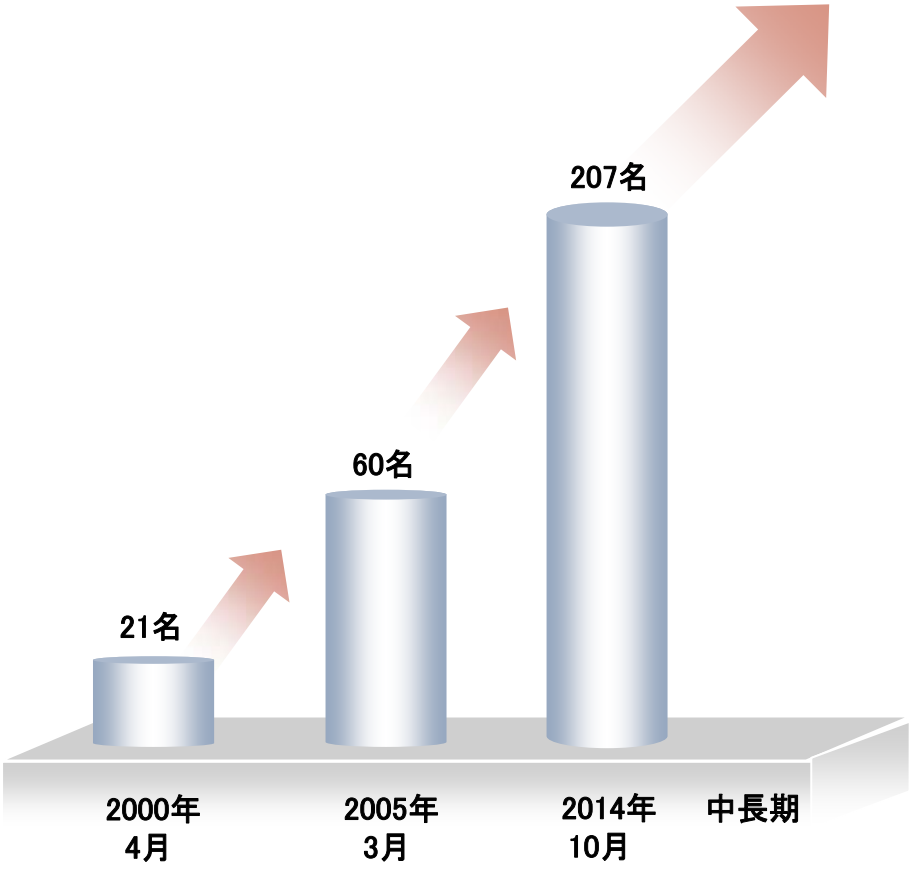
	2005年3月	2014年10月
支店長	3名	18名（15.3%）
管理職	60名	207名（7.3%）

※ カッコは女性比率

女性活躍先進企業としての評価の高まり

2012年	【日経WOMAN】女性が活躍する会社 総合：7位 ／ 女性活用度部門 ：3位
2013年	【日経WOMAN】女性が活躍する会社 総合：7位 ／ 女性活用度部門 ：1位
	「キャリア支援企業表彰2013～ 人を育て・人が育つ企業表彰～」 厚生労働大臣表彰受賞
2014年	【日経WOMAN】女性が活躍する会社 総合：13位 ／ 女性活用度部門 ：1位
	経済産業省 「ダイバーシティ経営企業100選」選出

女性管理職の増加イメージ（大和証券）



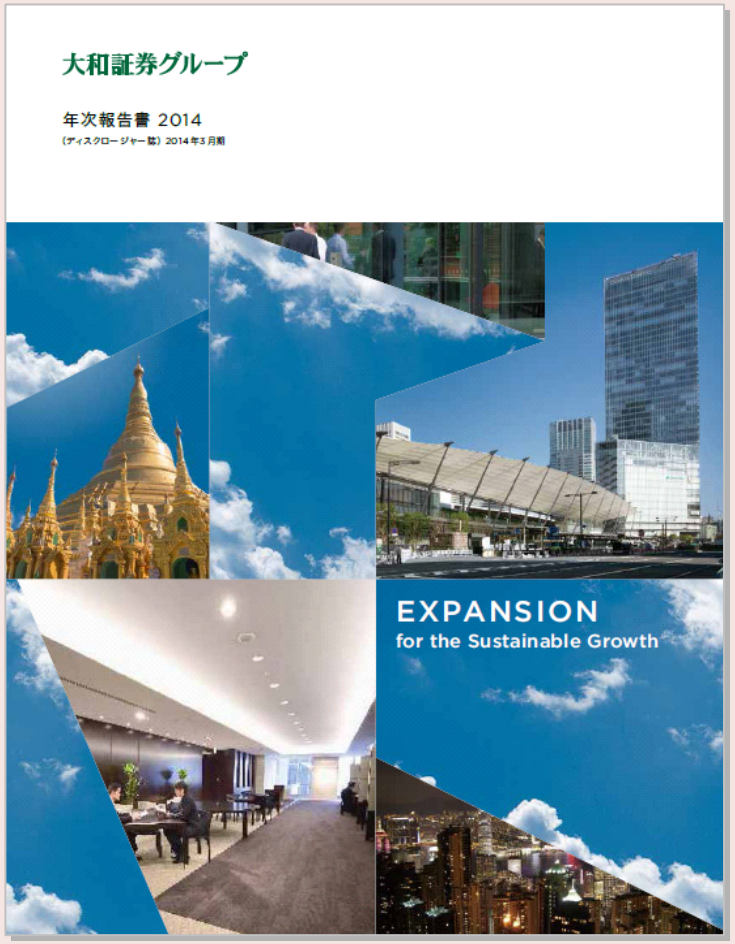
IRサイトご紹介

URL：http://www.daiwa-grp.jp/ir/

ディスクロージャー誌、ビジネスレポート

PASSION FOR THE BEST

年次報告書2014（ディスクロージャー誌）



第78期　中間ビジネス・レポート

大和証券グループ本社　IR室

TEL: 03-5555-1300　FAX: 03-5555-0661

E-mail: ir-section@daiwa.co.jp

URL: http://www.daiwa-grp.jp/ir/